

365日24時間体制で地域を見守る存在



新城市消防本部

消防・救命活動

所在地 新城市平井字新栄83 TEL 0536-22-1119



災害や事故から住民を守る

新城市の中心部から新城IC方面に向かう国道151号沿いに、「新城市消防防災センター」と書かれた大きな建物があります。みなさんが一度は見たことのあるこの建物こそ、奥三河地域の住民の命と暮らしを守ってくれている新城市消防本部です。万が一、自分や周りの人が火災や事故に巻き込まれたり、あるいは急な病気などで命の危険が迫った時、早く救助に駆けつけてくれる、消防士や救急救命士のみなさんが働く職場です。



担当エリアは奥三河全域

新城市消防本部では、現在152名の職員が働いており、そのうち126名が、消防や救命活動を任務とする消防署に所属しています。消防署では、2つのチームが交代制で24時間いつでも災害や事故の現場に出動できる準備を整えています。担当する地域は、新城市、設楽町、東栄町、豊根村の4市町村で、広さで言うと、愛知県全体の1/5を占める広大なエリアを守っています。



新城市消防本部の組織

消防署

災害や事故が発生した時は、消防車や救急車で出動して、みんなの安全を守ってくれる。

予防課

危険物の取扱や火災予防に関する仕事を行うところ。花火大会の許可もここが出します。

消防総務課

消防職員と団員の管理やサポートを行うところ。

命を守る指令塔

東三河消防指令センター

1日平均150件の
緊急通報が！

一つ一つの電話に、
ていねいかつ
正確に対応します。



新城市消防本部
消防署 消防士長
滝川 智哉さん



小学生の時にベランダから転落してケガをした際に、助けてくれた救急隊員に憧れて消防士になりました。緊張感と責任のある職務ですが、その分やりがいがあります。

火災や事故が発生した場合、まずは119番に電話をかけると思いますが、直接新城の消防本部につながる訳ではありません。発生現場が新城市でも豊川市でも、東三河地域で発生した緊急通報は全て、まずは豊橋市にある中消防署に設置された「東三河消防指令センター」につながります。

この指令センターには東三河の各市より職員が派遣され、火災や事故などが発生した地域の区別なく、全員が協力して一つのチームとして24時間体制で緊急事態に対応しています。

広いエリアをカバーする『ドクターヘリ』

奥三河は広く険しい山間部が多いため、救急車で大きな病院まで数時間かかってしまうような事態も。そんな時に活躍するのが、空飛ぶ救急車「ドクターヘリ」です。ドクターヘリの他、防災ヘリの出動要請もここ指令センターが行います。



毎日の訓練が大切!

事故や災害の現場では、状況が刻一刻と変化し、予測不能な事態も起こります。また多くの場合、救助を待っている人がいるため、駆け付けた隊員たちは、限られた時間のなかでいろいろな決断を迫られます。一つの判断や動作のミスが、救助を待つ人や隊員を危険にさらしてしまうこともあるのです。そんなことが万一にも起きないように、毎日行う訓練がとても大切です。訓練では様々な状況を想定し、内容に変化を付け、工夫しながら技術やチームワークの向上を図っています。



消防士に大切なことは?



しんしろししょうぼうほんぶ
新城市消防本部
しょうぼうしよ けいぼうたんどう
消防署 警防担当
すが や ようすけ
菅谷 洋介さん

しっかりと救助活動が行えるよう、気持ちも身体も、いつでも万全の体調であることを心がけています。そのために家族と過ごす時間を大切にしています。

この仕事では、生死にかかわる大変な現場も経験します。一人でも多くの命を救うため、救急救命士の資格を取りました。自分の技術や能力を向上させることも大切です。



しんしろししょうぼうほんぶ しょうぼうしよ
新城市消防本部 消防署
きたした らさいがいたいさくたんどう
北設楽災害対策担当
ふくさん じ まつした えいいち
副参事 松下 栄一さん

消火活動に欠かせない

消防車両と 隊員装備

火災現場では、消防車の代名詞であるポンプ車や、水では消火できない火災にも対応できる化学車、ビルなどの高い建物火災に活躍するはしご車などが、それぞれ異なる役割と性能で能力を発揮します。毎日時間をかけた点検、整備を怠りません。



炎や煙、有毒ガスから身を守ってくれる防護服。背中に背負う空気ボンベを入れると総重量は19kgに。この装備を身にまட்டுて迅速な消火・救助活動を行うのが消防士だ。



はしご車

署長からみんなに MESSAGE

新城市消防本部 消防署 署長 山田 康司さん

地域の未来を守る若い力に期待

いま、奥三河地域は高齢化が進み、救急車の出動回数も年々増えています。豊かな自然と人の温かさに恵まれたふるさとを守るため、みなさんが将来の消防士を目指してくれたらうれしいです。私たちはこれからも、地域に密着した消防活動を続けていきます。ぜひ一緒に地域の安心安全を守っていきましょう。

